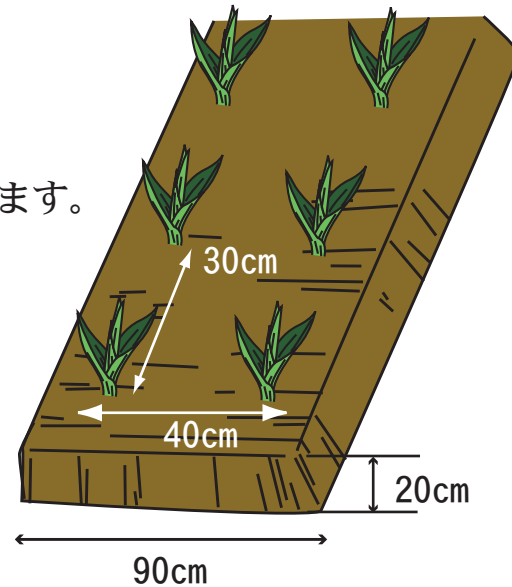


トウモロコシの上手な作り方

1 土作り・定植

- ①定植の2週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。
(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前
堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作ります。
(1㎡に堆肥3L・肥料100g)

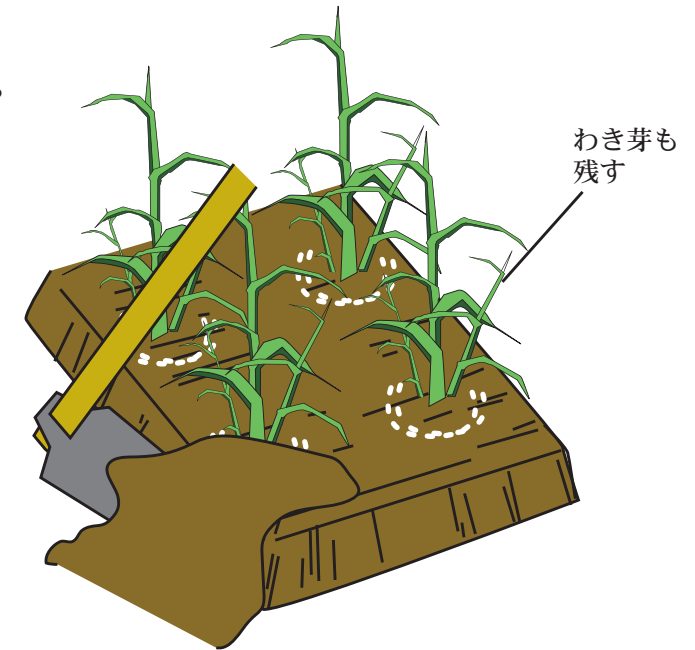


2 わき芽・追肥

ポイント

《わき芽を残して受粉を助ける》

- ③草丈が30~40cmに伸びてくると、株元から2本わき芽が伸びてきます。わき芽から実は取れませんが、倒伏防止と受粉の助けとなるので欠き取らずにそのまま育てます。
- ④草丈が50cm程度になったら、株の両側に化成肥料を施します。そのとき畝間の土を軽く耕して(中耕)、土寄せします。

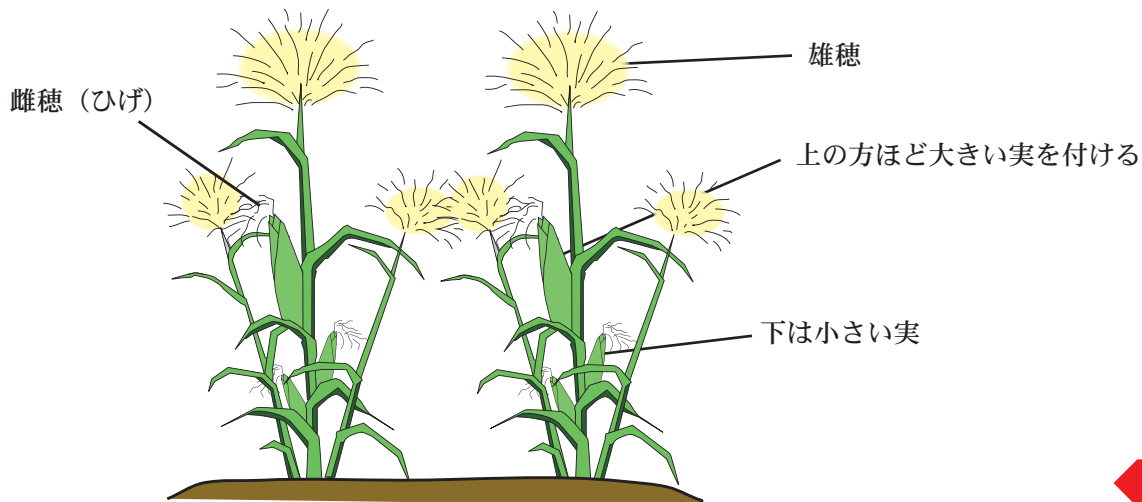


3 受粉

ポイント

《支枝とわき芽両方の雄穂で実なりを良くする》

- ⑤雌穂の絹糸に雄穂の花粉が飛散し、受粉します。トウモロコシは他株の花粉の飛散によって互いに受粉し合って結実するので、このとき効率よく受粉するように2列を並行に植えて受粉しやすい環境で育てましょう。



4 収穫

ポイント

《絹糸が褐色になったら早めに収穫》

- ⑥絹糸が出て25日ごろが収穫の目安です。絹糸が褐色になったら、実際に手で触って実が入っているかを確認してから早めに収穫します。もぎたてを茹でるだけでも格別の味を楽しめます。

